

TOP MESSAGE

トップメッセージ

創業90年を迎えた2014年に新中期経営方針を発表し、成長に向けた「意識改革」「商品改革」「ビジネスの構造改革」の3つの改革をスタートさせてから3年が経ちました。私たちはこの経営方針の下、社員に対しても失敗をおそれずにチャレンジする精神やグローバル化の必要性を説き、それらを根付かせました。また、定番商品ラインの充実、ブランド化及び新商品開発の拡大を進めるとともに、国内外での経営体制を抜本的に見直し、改革を推し進めてまいりました。さらに、これからの玩具市場に必要な4つの要素として「ENDLESS:時代とともに新しい遊びで発展していく」「AGELESS:新しい年齢層を取り込む」「BORDERLESS:新しいマーケティング」「POA:新しい売場と商品展開」をキーワードに、当社グループがこれまでに育成した商品、ブランド及びそれらの開発過程で蓄積した経験・ノウハウと融合させ、次なる成長に向けた進化の途を辿っております。

こうした私たちの改革の積み重ねは、すでに大きな変化を生み出しております。一つは私たち自身が、2017年3月期において、業績を大きく好転させたことです。売上高、営業利益はともに2期連続で増加し、営業利益においては前期から大幅に伸長いたしました。もう一つは、こうした改革を通じてこれまでとは異なる新たな価値を創出することで、消費者にとっての玩具の役割や定義そのものへも、新しい提案ができるようになった点です。玩具に使われる新たな技術の広がりや玩具に付加された新しい価値によって、玩具が様々な役割を果たしうようになり、玩具のターゲット層が、これまでの子どもだけではなく、学生や大人層、そしてシニア層へと広がってきております。玩具の役割・定義が変化している流れは、既存の玩具市場を拡大させる重要な要素になると考えます。

タカラトミーは、時代を拓く挑戦者として、グローバル市場において引き続き新しい価値の創出に努めてまいります。

代表取締役社長
H.G.メイ



代表取締役会長
富山 幹太郎

富山 幹太郎

